



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 フュートレック
 コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦川 康孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	496	41.8	228		228		197	
29年3月期第1四半期	854	47.0	124		121		95	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 204百万円 (%) 29年3月期第1四半期 87百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21.16	
29年3月期第1四半期	10.31	10.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,318	3,289	58.1
29年3月期	5,426	3,507	60.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,090百万円 29年3月期 3,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	9.2	220		220		210		22.55
通期	5,500	39.0	100	69.3	100	69.2	60	62.9	6.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	9,476,200 株	29年3月期	9,459,200 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	146,460 株	29年3月期	146,460 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,318,407 株	29年3月期1Q	9,312,800 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な雇用・所得情勢を受けて個人消費は底堅く推移しており、緩やかに回復しています。また、日本国内のインバウンド市場については、アジア新興国の所得拡大の持続や宿泊施設の増加等の受入環境設備の進展などから、今後も引き続き拡大が見込まれております。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識・翻訳・インバウンドなど複数の事業を柱とする会社を目指し、各事業の更なる拡大・強化に努めております。

音声認識事業においては、コアとなるディープラーニング(深層学習)に基づく独自の音声認識技術と共に、遠隔発話、ハンズフリー、バージインなどの周辺技術開発を強化し、ロボット、車載及び音声アシスタント機器分野に対する事業への展開を進めてまいりました。具体的には、トヨタ自動車株式会社のコミュニケーションパートナー「KIROBO mini」や株式会社NTTドコモとフォーティーズ株式会社が共同で開発したホームコミュニケーションデバイス「petoco(ペトコ)」、株式会社アビストの「受付電話ロボット アビテル」に当社の音声認識技術が採用されました。

翻訳事業においては、株式会社メディア総合研究所の人手による翻訳事業の拡販及び、株式会社みらい翻訳との協業等による機械翻訳事業の拡大に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、営業体制の強化及び新規顧客獲得を目指して取り組んだ結果、人手翻訳に係る新規顧客案件が増加いたしました。

インバウンド市場関連におきましては、増加する訪日外国人旅行者のサポートニーズに応えるべく、積極的に拡販活動を展開いたしました。その結果、当社のインバウンド向け商品である多言語ガイドシステム「U・feel」及びペン型多言語音声ガイド「音えんぴつ」について、複数の観光事業者様にご採用いただきました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は496百万円(前年同四半期比41.8%減)、営業損失は228百万円(前年同四半期は営業利益124百万円)、経常損失は228百万円(前年同四半期は経常利益121百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は197百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益95百万円)となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第17期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	第18期 第1四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス事業	515	140	△375
翻訳事業	171	188	17
その他事業	166	167	0
売上高合計	854	496	△357

① ライセンス事業(音声認識事業分野、CRM事業分野 他)

売上高は140百万円(前年同四半期比72.8%減)となりました。

音声認識事業分野の売上高は99百万円(同78.3%減)となりました。前第1四半期連結累計期間では大型ライセンスに係る売上が計上されましたが、当第1四半期連結累計期間では、大型ライセンスに係る売上は計上されませんでした。また、平成27年12月8日に「ライセンス(許諾条件の変更)契約の締結に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、本契約に伴い、音声認識事業のランニングロイヤルティに係る売上が減少しております。

CRM事業分野の売上高は40百万円(同3.9%減)となりました。前第1四半期連結累計期間と比較し、主に受託業務に係る売上が減少したことによるものであります。

② 翻訳事業(翻訳事業分野)

売上高は188百万円(同9.9%増)となりました。前第1四半期連結累計期間と比較し、主に人手翻訳に係る売上が増加したことによるものであります。

③ その他事業(基盤事業分野、書き起こし事業分野、IT事業分野、映像事業分野、国際事業分野 他)

売上高は167百万円(同0.6%増)となりました。前第2四半期連結会計期間において吸収分割により承継した、株式会社アドホックの事業(インバウンド市場関連を含む)に係る売上高が前第2四半期連結会計期間より計上されており、前第1四半期連結累計期間では計上されていないため、承継されたインバウンド市場関連を含む国際事業分野において売上高は大きく増加いたしました。また、書き起こし事業分野では案件の増加により売上高は増加いたしました。一方、基盤事業分野では受託業務の減少により売上高は大幅に減少し、IT事業分野及び映像事業分野においても受託業務の減少により売上高は減少いたしました。その結果、その他事業全体としましては、ほぼ前年同四半期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ108百万円減少し5,318百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が4,150百万円(前連結会計年度末比88百万円減)、固定資産が1,168百万円(同19百万円減)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加246百万円、受取手形及び売掛金の減少528百万円、有価証券の増加100百万円、仕掛品の増加59百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、ソフトウェアの減少16百万円、のれんの減少8百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が1,026百万円(同91百万円減)、固定負債が1,003百万円(同201百万円増)であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少163百万円、短期借入金の増加225百万円、未払法人税等の減少65百万円、流動負債のその他の減少59百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、長期借入金の増加200百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少197百万円等により3,289百万円(同218百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想につきましては、平成29年6月19日公表の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,154,826	3,401,195
受取手形及び売掛金	829,918	301,402
有価証券	100,000	200,000
仕掛品	31,912	91,226
その他	126,245	158,309
貸倒引当金	△3,854	△1,436
流動資産合計	4,239,047	4,150,697
固定資産		
有形固定資産	75,933	79,864
無形固定資産		
のれん	251,260	242,409
ソフトウェア	237,814	221,618
無形固定資産合計	489,074	464,027
投資その他の資産		
投資有価証券	535,089	537,372
その他	87,861	86,779
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	622,914	624,114
固定資産合計	1,187,921	1,168,007
資産合計	5,426,969	5,318,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	238,163	74,923
短期借入金	25,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	502,486	500,000
未払法人税等	68,702	3,056
賞与引当金	43,497	17,723
その他	239,702	180,498
流動負債合計	1,117,552	1,026,202
固定負債		
長期借入金	800,000	1,000,000
繰延税金負債	2,028	3,264
固定負債合計	802,028	1,003,264
負債合計	1,919,580	2,029,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	723,574
資本剰余金	903,938	909,810
利益剰余金	1,720,566	1,523,355
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	3,271,059	3,086,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,492	3,353
その他の包括利益累計額合計	1,492	3,353
新株予約権	19,320	16,267
非支配株主持分	215,515	182,893
純資産合計	3,507,388	3,289,238
負債純資産合計	5,426,969	5,318,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	854,021	496,691
売上原価	367,283	398,290
売上総利益	486,738	98,401
販売費及び一般管理費	362,646	326,972
営業利益又は営業損失(△)	124,091	△228,570
営業外収益		
受取利息	161	80
受取配当金	3,190	550
貸倒引当金戻入額	2,098	—
業務受託料	900	900
その他	919	235
営業外収益合計	7,269	1,765
営業外費用		
支払利息	2,103	1,723
為替差損	1,599	—
持分法による投資損失	6,208	—
その他	124	124
営業外費用合計	10,037	1,848
経常利益又は経常損失(△)	121,323	△228,653
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,086
特別利益合計	—	1,086
特別損失		
投資有価証券売却損	—	187
ゴルフ会員権評価損	—	800
特別損失合計	—	987
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,323	△228,554
法人税、住民税及び事業税	22,411	1,718
法人税等調整額	△9,280	△23,590
法人税等合計	13,131	△21,872
四半期純利益又は四半期純損失(△)	108,191	△206,682
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,211	△9,471
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	95,980	△197,210

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	108,191	△206,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,367	1,864
その他の包括利益合計	△20,367	1,864
四半期包括利益	87,824	△204,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,620	△195,349
非支配株主に係る四半期包括利益	12,203	△9,468

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。